【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公開番号】特開2010-55982(P2010-55982A)
【公開日】平成22年3月11日(2010.3.11)
【年通号数】公開・登録公報2010-010
【出願番号】特願2008-220938(P2008-220938)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｒ　13/42　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｒ　13/42　　Ｆ
Ｈ０１Ｒ　13/42　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成22年3月18日(2010.3.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
接続端子を収容するハウジング本体と、該ハウジング本体に設けたホルダ保持枠に収容し前記接続端子の一部を保持するインナホルダと、前記ハウジング本体の前方から前記ホルダ保持枠と前記インナホルダの間に挿入して、前記ホルダ保持枠に対し前記インナホルダを横移動させるフロントホルダとから成り、前記インナホルダの横移動により前記インナホルダの端子係止部によって、前記ハウジング本体内の前記接続端子を前記ハウジング本体に本係止することを特徴とするコネクタハウジング。
【請求項２】
前記インナホルダの端子係止部は、前記接続端子の中間部を本係止することを特徴とする請求項１に記載のコネクタハウジング。
【請求項３】
前記本係止に先立ち、前記ハウジング本体に設けた係止ランスを前記接続端子の係止孔に結合して、前記接続端子を仮係止することを特徴とする請求項１又は２に記載のコネクタハウジング。
【請求項４】
前記インナホルダの横移動は前記フロントホルダの挿入アームの挿入により行うことを特徴とする請求項１～３の何れか１つの請求項に記載のコネクタハウジング。
【請求項５】
前記挿入アームの挿入により、前記フロントホルダを前記インナホルダに抜き出し不能に錠止することを特徴とする請求項４に記載のコネクタハウジング。